

診療放射線学研究科（博士論文の審査基準）

新規性、有効性、信頼性の3条件をすべて満たし、かつ意義の高い成果が得られたことを審査基準とする。特に実践的研究では、十分な有効性もしくは有用性を持つことが求められる。本審査までに、研究内容の全部もしくは一部を含む査読付原著論文（単著もしくは筆頭著者）が学術雑誌において1本以上公表されていることが必須となる。また、ヒト、動物を対象とした研究の場合、倫理的配慮に関する記載が必要となる。

（1）新規性

論文の内容に新規性があること。

例えば以下のような要件を満たす場合、博士論文に新規性があると評価する。新規性の判定は、学術論文誌を基準とする。従来論文と比較し大きな差異が認められる場合には、特に優れた博士論文として評価する。複数の要件において差異が認められる場合、新規性を総合的に判断してより高い評価を与える。

- ア 新しい概念が提案されている。
- イ 新しいアルゴリズムが提案されている。
- ウ 新しい方法論が提案されている。
- エ 概念や方法の新しい組合せが提案されている。
- オ 理論上の新しい結果が論述されている。
- カ 新しい問題領域が提案されている。
- キ その他、新しい解釈、知見、事例、適用例、論点整理等が提示されている。

（2）有効性

論文の内容が学術、社会の発展に役立つものであること。

例えば以下のような要件を満たす場合、博士論文に有効性があると評価する。有効性の判定は、学術論文誌を基準とする。従来論文と比較し大きな差異が認められる場合には、特に優れた博士論文として評価する。複数の要件において差異が認められる場合、有効性を総合的に判断してより高い評価を与える。

- ア 得られた効果が大きい。
- イ 得られた結果を広く適用できる。
- ウ 得られた結果を適用したい人が多い。
- エ 得られた結果を適用した場合に得られる利益が大きい。
- オ 新しい研究につながる可能性が高い。
- カ 他の研究に大きな影響を与える可能性が高い。
- キ その他、問題への十分な理解及び考慮、新しい研究分野への発展が期待される等の具体的な効果が示されている、あるいはその可能性が高い。

(3) 信頼性

論文の内容が審査員及び社会から見て信用できるものであること。

以下のような要件をすべて満たす場合、博士論文に信頼性があると評価する。

ア 研究計画、方法が適切かつ十分である。

イ 論理的かつ明快に記述されている。

ウ 実験等が再現できる程度に具体的に記述されている。

エ 得られた結果に対する分析が十分にされている。

オ 技術的な裏付けが示されている。

カ 前提条件が明確である。

キ ヒト及び動物を対象とする場合、倫理委員会の承認を受け、適切に実施していること。